



バリアフリー推進レポート



大学生が当事者目線でバリアフリーを学び、考える

中国運輸局では、共生社会実現のため、学生や社会人を対象としたバリアフリー教室を開催し、「障害の社会モデル」※1、「心のバリアフリー」※2の啓発活動に取り組んでいます。

このたび、移動に困難を抱える人々の疑似体験やディスカッションを通し、障害者差別解消への理解とともに、バリアフリーに関する知識と自らの考えを持ち、将来の社会生活に活かしてもらうことを目的に、安田女子大学の授業の一環としてバリアフリー教室を行いました。

※1 障害の社会モデル...障害は個人の心身機能の障害と社会的障壁の相互作用によって創り出されているものであり、社会的障壁を取り除くのは社会の責務である、とする考え方。

※2 心のバリアフリー...様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションをとり、支え合うこと。バリアフリー教室は、令和2年のバリアフリー法改正に伴い「教育啓発特定事業」に位置付けられ、取組を強化しています。



安田女子大学バリアフリー教室

- 日 時：令和6年10月24日(木) 13:00~15:40
- 場 所：安田女子大学（広島県広島市安佐南区安東6丁目13番1号）
- 共 催：国土交通省中国運輸局、安田女子大学
- 協 力：広島交通株式会社
- 参加者：安田女子大学 現代ビジネス学部 公共経営学科 1年生 40名
- 内 容： ①バスのバリアフリー機能紹介 ②当事者目線によるバスの利用体験
③グループディスカッション

大学構内に広島交通の最新低床EVバスを乗り入れ、バスのバリアフリー機能を紹介しました！



乗車口にはスロープが折りたたまれており、車椅子ユーザーが乗降する際に運転士がスロープを広げ、使用します。

ボタンを押すと運転士と直接話すことができます。車椅子ユーザーを想定し、乗車口の低い位置に設置されています。

車椅子の乗降中は、バス後部の「車いす乗降中」の文字が点灯して後続の車に知らせます。

様々な当事者の体験をしました！



車椅子

車椅子利用者と介助者の体験を行いました。車椅子の操作や、車椅子を押してスロープを登ることに苦戦する様子が見られました。



ベビーカー

おもりの付いた妊婦体験用具を装着し、バスの乗り降りを行いました。「体が重い」「座るとお腹が苦しい」という感想がありました。

赤ん坊ほどの重さのぬいぐるみを抱きかかえ、ベビーカーを畳んでからバスに乗る作業を2人1組で行いました。

足が曲がりにくくなるサポーターや、視界が狭くなるゴーグルを装着し、高齢者の移動の不自由さを体験しました。



妊婦



高齢者

ディスカッション

「バスで移動し映画を見に行くこと」をテーマに、車椅子ユーザーや妊婦、子連れの立場で生じる困難や解決策について考えました。



前半で行った体験を生かし、当事者目線の意見を出し合っていました



- ・車椅子だと目線が低いので、映画館の最前列でないと映画を見ることはできない
- ・子連れだと、上映中に子どもが泣いてしまうかもしれないので、防音の個室がほしい
- ・券売機の操作を高齢者でもわかりやすいようにしてほしい

合理的配慮

障害当事者と障害を持たない人がお互いを理解していくにはどうすればいいかを合理的配慮をテーマに考えました。聞き慣れない言葉に苦戦しながらも、課題に対して班で議論する様子が見られました。



合理的配慮とは：

障害のある人から「社会的なバリアを取り除いてほしい」という意思が示された場合には、負担が過重でない範囲で、バリアを取り除くために必要かつ合理的な対応をすること



学生の感想

体験

- ・実際に色々な体験をしたことで、そういった人達の立場になって考えるいい機会になってよかったです。
- ・バリアフリーなどの、身体に何かしら障害などを持つ人々が暮らしやすい環境にするにはどうすればよいか考えるいい機会になりました。
- ・直接障害者の方と交流する機会があればいいなと考えました。
- ・障害の一日体験をして色んなところに行ったら何が不自由なのか想像だけではわからないことがわかるため啓発につながると思います。
- ・体験できなかったものがあるのもっといろいろな種類の体験がしたい。



ディスカッション

- ・実例をもとにディスカッションをした点が、いつもの生活に当てはめて考えやすかったのでよかったです。
- ・コミュニケーションをとりながら、誰かの支えになれるような心の豊かさを持っていたいと思いました。
- ・合理的配慮については全く知識がなかったから、CMなどでより多くの人に理解して貰えるようにすればいいと感じた。
- ・子供連れ体験をしてベビーカーを持っていると乗り降りも大変で、乗ってからも周りに迷惑をかけないようにと考えるのが大変だと思いました。合理的配慮について色々な考え方があると思いました。

